

診療放射線技師になるには？

大学・短大・専門学校へ進学し学業を終えたあと診療放射線技師の国家試験に合格しなくてはなりません。

養成学校一覧(主に東日本)

国立大学 北海道大学、弘前大学、東北大学、新潟大学、金沢大学 他

公立大学 茨城県立医療大学、群馬県立県民健康科学大学、東京都立大学 他

私立大学 北海道科学大学、北里大学、駒澤大学、帝京大学 杏林大学

日本医療科学大学、国際医療科学大学、つくば国際大学 他

専門学校 北海道医療専門学校、東京電子専門学校、東洋公衆技術専門学校

中央医療専門学校(昼間、夜間)城西放射線技術専門学校(夜間) 他

学費

国公立大学 一律 入学金 282,000 円 年間授業料 535,800 円

私立大学年間学費 1,600,000~2,000,000 円程度

専門学校は若干安く年間 1,000,000 円程度

3年だと×3 4年だと×4で最高600万円程必要です。

その他岩手県に学校が無い場合、アパート代など生活費がかかります。

私立大学4年で生活費を含め、合計1,000万円程度必要になります。

夜間の専門学校は昼働いて（病院の補助員など）夜学校に通い資格を取得します。

現在も夜間学校出身の診療放射線技師が県立病院で勤務しています。

国家試験の合格率

最近の試験合格率はおおむね 70%前後で推移しています。

受験者数は全国で 2,500 人程度。

合格ラインは問題数の 6 割以上 1 点でも上回れば合格です。得意教科の引き上げと不得意教科の底上げを目指して勉強してほしいのですが、不得意教科を作らないようにまんべんなく全ての教科を勉強することが大切です。

県立病院で働くには？

岩手県立病院職員採用選考試験（公務員試験）に合格しなくてはなりません。

合格後に中央病院、基幹病院、地方病院、合計 20 あるいずれかの県立病院へ配属となります。大学(大学院)、短大、専門学校を卒業しても同じ国家試験を受験し免許取得しているので、就職したら学歴に関係なく同じ一人前の放射線技師として仕事ができます。新人技師には新人教育マニュアルに基づき、段階を踏んで経験を積んでいくことができます。また他の病院で放射線技師の経験を積んでから受験する人もいます。即戦力として期待されます。

放射線技師になった後(採用後)の認定専門資格

放射線技師になったあと、さらに興味を持った分野や専門的知識を伸ばすため

「認定専門資格」を取得できます。

- ・ X線 CT 認定技師
- ・ 磁気共鳴専門技術者 (MRI)
- ・ 放射線治療専門放射線技師
- ・ 第1種放射線取扱主任者
- ・ 救急撮影認定技師

他にもたくさんの認定専門資格があります。

県立病院では認定に向けての学会や講習会への派遣、認定取得後の資格維持に

対して、金銭面も含めた支援を行っています。また各地域での交流事業や県立病

院全体で勉強会や講習会も盛んに行われています。

県立病院は大規模病院から小規模の病院まで20の病院があります。どこの病

院へ配属になってもやりがいのある環境で業務を行っています。

そんな県立病院で働いてみませんか？